にこにこ

ボーイスカウト
浜松第22団
広報誌　vol.30

団レクリエーションを終えて

東日本大震災から約２年がたちましたが、今なお、３０万人以上の方が避難もしくは転出されているとのことです。もし、大きな震災が東海地方で発生したら。。。

今回の団レクでは団レク中に震災が発生したという設定で体験型のプログラムを組み、活動場所は鳳来寺の小学校跡地で行いました。

伝令ハイキングとして、新城総合公園までの片道7.5kmの道のりを歩くプログラムを取り入れました。普段から歩きなれている、カブ隊のスカウト組はさすがですね。１時間ちょっとで伝令場所に到着したと聞いています。ビーバー隊のスカウトも、寄り道しながらもゴールできました。

４月中旬でしたが暖房設備の無い小学校で、一夜を過ごす体験も出来ました。不十分な設備での舎営を経験できたことは、もしもの時でも何とか生活が出来るという自信になったのではないでしょうか？　ボーイ隊はあの雨の中、野営を行い閉会式直前まで汚れたブルーシートを洗って撤収している姿を見ていると「さすがボーイ隊だなあ」と感心しました。

スキルラリーでは火起こし競争、ポール立て等を行いました。ボーイ隊には新聞紙を使わない火起こしを体験してもらいました。非常時にはあるものを使って暖を取り煮炊きをすることが必要になるかもしれません。

そういう意味でアルミ缶炊事は、各隊とも、なかなか集中して出来ていたと感じました。牛乳パック３個とアルミ缶のみでもご飯が炊けることを体験することは体験から学ぶボーイスカウトらしい活動だったと思います。

これらの活動が、スムーズに行えたのも、行事委員、団委員、各隊リーダー、そしてなにより保護者の方の協力があったからこそだと思います。

今後もスカウト活動に協力よろしくお願いします。　　団レク実行委員長　辻　信昭

平成25年6月30日　編集：浜松第22団広報委員会